

11月16日(水)

建設通信

西野田工科高生が現場体感

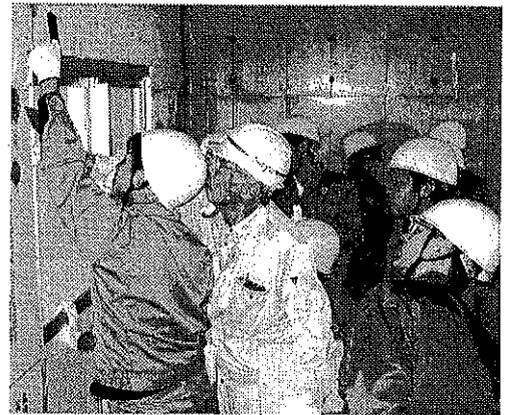
大阪府建設業懇話会

大阪府と大阪建設業協会など府内の建設業団体で構成する大阪府建設業懇話会（委員長・山下久佳大阪府住宅まちづくり部技監）は14日、現場見学会を開いた。

建設業への若年者人職促進を目的に毎年行っているもので、府立西野田工科高の2年生約40人が大阪市平野区にある「府営瓜破西第4期高層住宅」の現場



あじさいの山下委員長



瓜破西4期高層住宅を見学

を訪問、工事の進め方を学ぶとともに現場の雰囲気を感じた
写真。

主催者あいさつに立った山下委員長は「躯体から内装まで、さまざまな職種の人が協働してつくり上げていく建設業の面白さを、見学会を通じて感じてもらえたらうれしい」と述べた。

概要説明などに続き、4班に分かれて現場に入った。床や壁といった内装工事の様子を中心に見て回ったほか鉄筋ガス圧接の実演なども見学した。

見学後は、施工担当企業の若手社員が建設業の仕事のやりがいについて語った。また質疑応答では「月収は」「現場管理の仕事に必要な資格は」といった質問が寄せられていた。

同住宅（平野区瓜破西1）の建て替えは、既存の中層耐火住宅の老朽化に伴い、居住環境改善を目的に実施。規模は1工区がRC造12階建て延べ7979平方メートル、2工区がRC造11階建て延べ3424平方メートル。設備工事は別途発注。建築設計は阿波設計事務所、建築施工は栗本建設工業（1工区）と中川企画建設（2工区）が担当している。

工期は1工区・2工区とも2017年7月19日まで。

大阪府営高層住宅で現場見学会

建築システム専科生徒40人参加

大阪府建設業懇話会は14日、大阪市平野区で工事を進めている大阪府営瓜破西第4期高層住宅(建て替え)新築工事(第1工区・第2工区)の現場見学会を開催した。大阪府立西野田工科高等学校建築都市工学系建築システム専科2年生40人(男女生1人)と引率教員4人が参加した。引率、山下久佳大阪府住宅まちづくり部技監は「次世代の建設業の担い手の育成と優秀な人材の確保のために、実際の建設現場を肌で感じてほしい。安全に気を付け

て精一杯いろいろなところを見て勉強してほしい」と挨拶した。

見学会は、協賛企画の中西博取締役が注意事項及び見学概要、建築概要について説明した後、A・Bグループに分かれて、建具取付工事や内装パネル工事等の、普段は目にする事が出来ない内装工事を興味深く見学した。

第1工区の工事概要は、住居棟RC造1階建て8356.92平方メートル(建築面積1239.43平方メートル)1棟110戸、施工面積6654.99平方メートル

自転車置場58ユニット8棟(バイク18台、自転車208台)、外構工事一式、杭工事アースドリル工法、掘削打ち鋼管コンクリ抵底杭27本。第2工区の工事概要は、住居棟RC造1階建て3424.81平方メートル(建築面積365.5平方メートル)1棟55

戸、施工面積1148.94平方メートル、外構工事一式、杭工事アースドリル工法、掘削打ち鋼管コンクリ抵底杭13本。工期は17年7月19日。工事場所は、大阪市平野区瓜破西1-1-5、他7等。施工は、第1工区が果本建設工業、第2工区が中川企画建設が担当。



11月16日(木)

建通新聞

高校生40人が参加

大阪府建設業懇話会の現場見学会



大阪府建設業懇話会は、大阪府菅瓜破西第4期高層住宅建て替え(第1・2工区)の現場見学会を開いた。西野田工科高校建築都市工学系建築システムの2年生約40人が参加し、内装工事の様子や鉄筋ガス圧接の実演などを見学した。写真。参加した生徒の一人は、「内装工事の完成までの過程を、順を追って見学できたので分かりやすかったです」と感想を話していた。

西野田工高生招き見学会

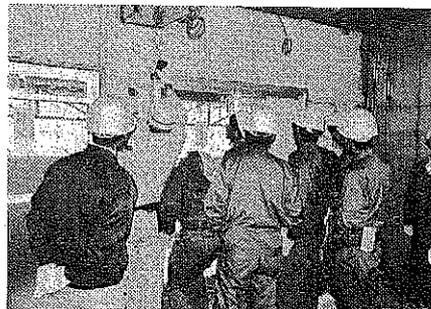
大阪府建設業懇話会 府営住宅新築現場で

大阪府と大阪建設業協会、大阪府建団連、大阪電業協会、大阪空気調和衛生工業協会、大阪府中小建設業協会が構成する大阪府建設業懇話会（委員長・山下久佳大阪府住宅まちづくり部技監）は14日、大阪市平野区の「大阪府営瓜破西第4期高層住宅（建て替え）新築工事（第1・2工区）」で現場見学会を開いた。府立西野田工科高等学校建築都市工学系建築システム専科の2年生40人が参加し、建築工事への理解を深めた。施工は第1工区を栗本建設工業、第2工区を中川企画建設が担当。

同工事は、老朽化した既存住宅を建て替え、良好な住宅を供給するのが目的

第1工区はRC造12階建て延べ7979平方メートル（119戸）、第2工区はRC造11階建て延べ3424平方メートル（55戸）。場所は瓜破西1。工期15年10月28日～17年7月19日。現在は両工区とも上層階の躯体と下層階の仕上げを進めている。

見学会では冒頭、懇話会の山下委員長が「今回は躯体工事から内装工事まで、さまざまな専門工事職種の人たちが力を合わせて一つの建築物を造り上げていくという建設業の面白さを見てもらえんと思う。皆さんも来年は3年生になるが、ぜひ卒業後の進路として建設業界を選んでほしい」とあいさつ。



続いて生徒らは工事の流れや工事概要などについて説明を受けたほか、現場では鉄筋のガス圧接作業や超音波探傷試験の実演をはじめ、第1工区では地上7階部分の躯体構築、第2工区ではサッシ・内装パネルの取り付けを見学し写真。この中では府営住宅に採用されている内装プレハブ工法について理解を深めた。

見学会には、入社4年目という井上拓氏（中川企画建設）が現場監督の仕事内容や建設業の魅力などについて語ったほか、栗本建設工業現場代理人の勅使河原誠人氏は「この経験を今後進路選択に生かしてほしい」、中川企画建設現場代理人の坂本祐介氏は「現場監督の仕事も選択肢の一つにしてほしい」と話した。

西野田工科高生が「建設業の魅力」体感

「大阪府営瓜破西第4期高層住宅」を見学

大阪府、(一社)大阪建設業協会らで構成する大阪府建設業懇話会は十四日、大阪市平野区で建設が進む「大阪府営瓜破西第4期高層住宅(建て替え)新築工事(第1・第2工区)(施工・第1工区Ⅱ栗本建設工業、第2工区Ⅱ中川企画建設)の現場に大阪府立西野田工科高等学校建築システム専科二年生四十人を招き、見学会を行った。

まず、主催者を代表して山下久佳大阪府建設業懇話会委員長・大阪府住宅まちづくり部技監が「建設業を盛り上げていくためには若い人に入ってもらう事が大事で、それには実際の工事現場を



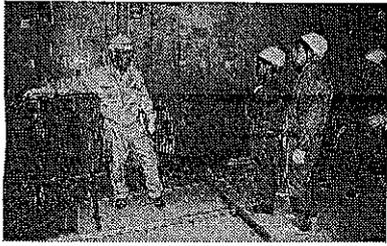
「建設業の面白さを感じてほしい」と挨拶する山下技監

上げていく建設業の面白さを感じてほしい。皆さんも来年は三年生になるが、ぜひ卒業後の進路として建設業を選んでほしい」と呼びかけた。

続いて工事監理を担当する(有)協友企画の中西博取締役が施工手順説明等を行った後、四班に分かれて現場へ移動。鉄筋方ス圧接の実演や躯体建て

方、サッシ取付、内装床パネル、壁パネルなどの仕上げ作業が進む様子をみて回った。また、若手社員による職場体験談として、入社四年目の社員が現場監督の日々の業務や仕事のやりがいなどを語り、その後、生徒達からの質疑応答では待遇面、現場監督として必要

第1工区 栗本建設工業 第2工区 中川企画建設



普段見ることのできない現場での鉄筋ガス圧接の実演(左)や仕上げの様子を見て回った

な資格などの質問が寄せられ、丁寧に答えていた。見学会を終えた生徒は「見たり、聞いたりした実体験を明日からの授業に生かそうと、深く心に留めた意義のある見学会になったようだ。」

瓜破西第4期高層住宅(建て替え)新築工事の規模は、第1工区がRC造十二階一八九戸延べ七、九七九平方メートル、第2工区はRC造十一階五五戸延べ三、四二四平方メートル。工事の現況は、第1工区は躯体工事が六階部分まで進み、一、二階の仕上げに力を入れ、第2工区は八階部分の躯体工事、一〜三階のサッシ、内装工事に取り組んでいる。両工区とも安全対策に細心の注意を払い、無事故無災害を継続中で、十九年七月の竣工を目指している。